

人文学部東アジア地域言語学科

学位（教育）プログラム名：東アジア地域言語（中国・韓国）学

本プログラムでは、中国および朝鮮半島を中心とした東アジアの地域事情および言語文化への理解を深めると同時に、広い視野と洞察力を身につけ、卒業後も問題意識を持って自分自身で学び続けられる力を育成します。

中国と韓国に地域を分け、専攻する地域の言語の習得をベースとして、地域事情、言語文化に対する知識を獲得し、同時に問題を発見し調査、検討する基本的研究力を養成する教育内容となっています。

本プログラムでは、中国コースおよび韓国コースの2コース制を取っていますが、一年次ではコースは決めず、大学生として必要な基礎的な知識、および中国語・朝鮮語を主に学びます。またこの時期に中国や韓国の社会文化の基本を学びます。二年次では希望するコースに進み、当該地域の言語コミュニケーションや文献講読科目によって総合的な語学力の向上をめざし、基礎演習では研究力の基礎を作ります。三年次以降は演習科目および各種の講読や講義科目によって語学力に根ざした研究力の育成をめざし、卒業論文の制作が可能な力を身につけます。また、希望する学生は、別コースの科目も卒業単位として履修が可能です。さらに、自由履修単位数を多くしていますので、選択科目・関連教育科目・共通教育科目で、希望に添った多様な科目の受講ができます。これによって学生の幅広い志向に応じた学習を可能にしています。

【共通教育】

共通教育のCPに関しては別に定める。

共通教育に関するCPをもって学位（教育）プログラムCPを構成する。